NPO法人
HUGこどもパートナーズのミニコミ誌
# HUGコミ
第10号
2009年3月
発行元:NPO法人HUGこどもパートナーズ(東村山市秋津町)／FAX:042-397-1024／E-Mail hug-partners@jcom.home.ne.jp／URL http://www10.plala.or.jp/ikunet/hug/

## HUGこどもパートナーズの活動紹介・その10

# 2か月の赤ちゃんとママのあやしうた＆おしゃべりタイム

毎月第4木曜日
10:20〜12:00
いきいきプラザ２階

多くの人が里帰り出産をして、産後1か月くらいしてから本格的な夫との子育てが始まります。いざ日中は赤ちゃんと2人きりという生活になると、不安や孤独を強く感じる人は少なくありません。でもその不安は、「大丈夫だよ」と励ましてくれる人がいれば安心できるものが多いし、孤独感も同じ赤ちゃんをもつママ友とメールや電話ができれば解消できるものもあるでしょう。

そのためNPO法人HUGこどもパートナーズは、なるべく早く友達をつくれるような場がほしいねと考え、市の健康課に協力してもらい、一昨年の9月からこの会を始めました。

参加したママたちには「同じくらいの赤ちゃんをもつママたちに会えてお話できてよかった」と好評です。　また民生委員（主任児童委員）の方々がお手伝いに来てくれて、ぐずる赤ちゃんをあやしてくれたり、寝かせつけたりしてくれることも喜こばれています。

会ではははじめに15分くらい「あやしうた」をします。「あやしうた」とは、わらべうたの中でもこの時期に赤ちゃんと気持ちを通わせゆっくりやってあげてほしいものをそう呼んでいます。「情報が氾濫しているけれど、赤ちゃんや家族にとって何が必要で何が大切なのか、赤ちゃんとよく目を合わせて、赤ちゃん自身から読み取ってね。赤ちゃんを大好きになってね」という私たちの想いを込めています。

※健診のお知らせと一緒に健康課からチラシが配布されています。参加は2〜4か月の赤ちゃんに限っています。

HUG
2009年度事業計画
一部をご紹介

2009年度リニューアル情報

# 親子サロンに遊びに来てね

親子サロンは乳幼児を連れて気軽に遊びに来られる場所です。いつ来てもいつ帰っても自由です。スタッフが待っていますので、気軽にお立ち寄りください。

### HUGサロン ぷらっと
◆毎週月曜日 10:00〜12:00
◆いきいきプラザ1Fロビー
協力：東村山市

### HUGサロン トコトコ
5月27日スタート!
◆毎月最終水曜日
10:30〜12:30
◆ころころの森
協力：東村山市子育て総合支援センター「ころころの森」

「トコトコ通信」の印刷日。お手伝いをしながらおしゃべりしましょう！

### HUGサロン ぽっと
午前だけになります。お気をつけください！
◆毎月第2／4火曜日　10:30〜12:30
◆いきいきプラザ2Ｆ健診室
共催：東村山市

### ぷくぷく外遊びサロン のはら
歩けるようになった子どもたち、元気に外で遊んでみませんか。
◆毎週木曜日　10:00〜12:00
◆北山公園　あずま屋の前集合
◆持ち物：水分・タオル・着替え
※雨の場合はありません
※駐車場はありません
※連絡先　090-9158-0188（奥）

### ふれあい親子サロン
◆毎月第3金曜日　10:30〜13:30
◆久米川ふれあいセンター第2集会室
（久米川町3-16-4）
主催：久米川ふれあいセンターコミュニティ推進部
※持参のお弁当が食べられます。
※駐車場はありません。

### 子育て広場　ハトの家
◆毎月第2／4金曜日　10:00〜12:00
◆ハトホーム 1Ｆ和室
（富士見町2-26-1ハトホーム内）
両主催：ＮＰＯ法人子育て広場きらら
※駐車場はありません。

### 恩多ひまわり広場
◆毎月第3水曜日　10:30〜13:30
◆トミンハイム恩多町集会所（恩多町5-40-6）
主催：恩多ひまわり広場実行委員会
※持参のお弁当が食べられます。
※駐車場はありません。
※連絡先　080-6624-4499（梶）

### ぽれぽれ広場
◆毎週木曜日　11:00〜15:00
◆白十字ホーム 1Ｆ会議室（諏訪町2-26-1）
主催：ぽれぽれ広場実行委員会
※駐車場はありません。

お問い合わせ：TEL 393-4181
（のぐちちょう子育てひろば　ぷくぷく）

### 雑記報
■2008年度も、のぐちちょう子育てひろば「ぷくぷく」および、NPO法人HUGこどもパートナーズは順調に活動してこられました。遊びに来てくれるみなさまや活動に参加してくださったみなさまに深く感謝しております。2009年度もよろしくお願いいたします。■2009年度の活動予定。サロンは3月で一か所終了しましたが、5月から新たに一か所オープンします。最終水曜日の午前中、みなさんご存知の「トコトコ通信」の印刷の手伝いなどをしながらのサロンです。どうぞ気軽に遊びに来てください！■4月から、その「トコトコ通信」の作成をトコトコ・ワールドさんから引き継ぐことになりました。新しいメンバーは、もちろん当事者である乳幼児をもつママたち。いっしょに試行錯誤しながらすすめていきたいと思います。編集や入力などのお手伝いをしてくれる「トコトコサポーター」さんも大募集中。まずは4月15日10時〜トコトコサポーター講座（保育付き）にご参加ください。■ころころの森も半年が経ち、新年度の事業計画が盛りだくさんにすすめられています。市内のNPO法人として、HUGもお手伝いしています。■HUG内の自主サークル「整体ヨガ」。4月は24日（金）午後のみです。保育はありませんが、子連れ参加OK。産後の骨盤矯正に効果バツグン。■2009年度の会員も募集しています。正会員5000円、賛助会員3000円、応援会員1000円です。なにかしてみたいアナタをお待ちしています！■HUGコミ次号は夏発行の予定です。

ま・ち・こ・ら・む・ク
わたしたちの住むまちは…

子どもたちのふるさと(2)

# 「福は内」「鬼は外」

久米川町　市川喜久男

（聞き手）平沼美春

二回目は、豆まきやひな祭りなどの季節の行事について聞きました。行事のやり方は市内でも各家庭で多少の違いがあったようです。ぜひおじちゃん、おばちゃんにどんなふうだったか聞いてみてください。（平沼）

二月の豆まきでは、まずおばあちゃんが、腐らないように焼いためざしの頭とヒイラギを家の入り口全部につけた。めざしを刺すのは小豆なんかの茎。収穫のときに少しとって干しておいて、それを箸くらいにきれいに切ったのを使った。めざしの頭を焼くときは虫封じ（かんの虫とか）なのか「きくおの虫もジーリジリ」など、家の子どもの名前を入れてうたった。鬼（災い）が、焼いためざしの臭いやヒイラギのトゲを嫌って寄りつかなくなると言われた。

日が沈み暗くなるとすぐ、玄関も裏戸も全部閉めた。鬼は夜にならないと来ないけど、あんまり遅いと、よそから逃げてきた鬼が集まってしまうから夜遅くは避けた。豆まきは父親がやるので、子どもたちはその後をついて歩いた。閉めた雨戸を一枚だけ開け、そこから最初「福は内」と言って豆を外にまき、次は「鬼は外」と二、三回やったら、悪いことが入らないようにって急いで雨戸を閉めちゃう。それを全部の戸からやった。

そのあと父親が豆を家の中にいくつもある神棚にもまいた。でも仏様や神様にまく時は「福は内」しかやらない。外にまいたのは食べれないけど、座敷に落ちたものをみんなで拾って食べた。子どもたちは「最初は年の数だけ食べろ」と言われて、全部まき終わると枡に豆を拾い入れ、食卓でみんなで自由に食べた。きょうだいも多くとってもにぎやかだった。大豆は外で買い、焙烙で炒った。

三月のひな祭りには50cmくらいのおひな様を飾った。大きなおひな様の冠を姉の頭にのせたりもしたね。おひな様は段飾りでなく、親元からおだいり様とおひな様が来て、その下には長寿を願う熊手やほうきを持った翁（おじいさんとおばあさん）のお人形だとか、おかっぱの女の子などのすわり人形だとか、お祝いに持ってきてくれたいろんなものを飾った。当時も財産家は段飾りがあったと思う。

菱餅は30cmくらいの大きなのを家で作ってお供えした。色は今と同じ三色で白以外は色粉（食紅）を使った。「早くお嫁にいけるようにおひな様は長く置いちゃいかん」と節句が終わったらすぐ片付け、そのあと菱餅を焼いて食べた。子どもができた人は仲人さんのうちにはまぐりを持ってあいさつに行く。大きなはまぐりをもらうとそれもおひな様のところに飾った。

春の彼岸はぼた餅を作った。普通は「半殺し」といってもち米をちょっと練ったものをぼた餅というらしいが、この辺はもち米をそのまま握り、まわりにあんこをつけたものをぼた餅といった。あんこはつぶしあんで、とってもおいしい。彼岸には「入り」「中日」「明け」（＊1）があって、地域のよって異なるけど、うちではだいたい「中日ぼた餅、明け団子」だった。団子はまゆ玉と同じ白い米粉の団子。

夏のお盆の三日間は毎朝、お供えのお饅頭（＊2）を作った。朝お饅頭を作って仏さんにあげて、お昼にはうどんを作ってあげた。残ったものは腐りやすいので井戸に下げた。蓋のできる竹かごに入れて紐で結って、水汲みの邪魔にならないように下げる。道路拡張で今はうちにはないけど、ほとんどの農家には井戸があって、中は温度が低いから冷蔵庫代わりだった。

当時はどこも麦畑で、建物はなかったから、家（久米川町二丁目）から市役所の先の線路に電車が通るのも見えた。電車は二台連結で車掌さんが手動で開け閉めする、のどかなものだった。家の庭には大きく立派なハクレンがあった。それが咲くと真っ白で、近所の人から「電車の中から市川さんのハクレンが見えたよ」と言われたものだ。

家の前に人形店があって、そこのおじいちゃんが押絵（今の羽子板）のものすごい腕のいい職人さんだった。おじいちゃんは花火も作っていた。運動会の朝なんかにポンポン！ってなるやつ。昔は村芝居だとか運動会だとか祭りだとかは必ず鳴らしていた。私がお店に見に行くと、おじいちゃんが「じゃあな、パチンと音のするの、今作ってやんからな」と言って、小さい和紙に火薬入れて包み、火をつけるとパチンを音だけがするものを作ってくれたんだよ。

＊1「お彼岸」は、前後各三日を合わせ七日間あり、最初の日を「彼岸の入り」、最後の日を「彼岸明け」と言い、真ん中の日を「中日」と言った。
＊2「お供えのお饅頭」は、「ゆでまんじゅう」のこと。HUGコミ前号参照のこと。

手でこねこね、小麦粘土遊び。
手の感触が、気持ちいい〜!

ぷくぷくでできたサークルさんが主催のクリスマス会にサンタさんが来てくれました。

美容師さんに来ていただいて、子どものヘアカットのポイントを教えていただきました。

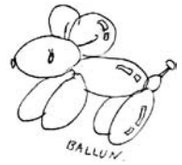
のぐちちょう子育てひろば　ぷくぷく

# 2008年度活動報告

今年度は「ぷくぷく」という愛称もつき、「たのしみ歩きままっぷ」づくりや、ママ達主催によるクリスマス会、ゆでまんじゅう作りなど、いつもの企画に加えて楽しいイベント満載の一年でした。

ベビーサロンにはねんねの赤ちゃんとママが集まって情報交換し、おしゃべり会ではおいしい手作りお菓子をいただきながらおしゃべり。パパサロンでは、カナダの子育てプログラム「ノーバディーズパーフェクト」をパパとママそれぞれのクラスで子どもを預けて学びあいました。仲間や方法が見つかると育児も楽しくなります

すっかり地域に定着したひろば、ママ達の居場所として親しまれていることをうれしく思います。ありがとうございました。親子の方だけではなく、地域のみなさんも気軽にお立寄りください。




## 2008年度に実施した講座

<ママスタディ>
◎体験講座
牛乳パックのびっくり箱
子どもの日を楽しもう!
おしぼりひよこ
ママのためのアロマセラピー
コップロケット
小麦粘土で遊ぼう
ゆでまんじゅうを作ろう!
クリスマスの飾りを作ろう!
ゴスペルを歌おう!
産後の整体ヨガ
鬼のお面作り
子どものヘアカット
パンを作ろう!

◎子育て講座
中国の子育て
子育て相談
親子ですこやか歯生活
離乳食講座
幼稚園のこと先輩ママに聞こう!
保育ママってどんなとこ?
食育講座〜1歳からが大切な幼児食

<パパサロン>
北山公園で遊ぼう!
アカペラで歌おう!
ブルーベリー園へ行こう!
子どもの写真の撮り方
お菓子作り
パパと一緒にリトミック
バルーン&大掃除
新聞紙で遊ぼう!
ノーバディーズパーフェクト
親子体操

〈マタニティ企画〉
安産のためのお灸
マタニティヨガ